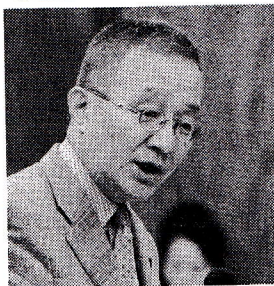


「こどもの城」なぜ廃止

厚労相「経過検証したい」

4/16

笠井氏が追及



笠井亮議員15日、衆院予算委第5分科会

日本共産党の笠井亮議員は15日の衆院予算委員会の分科会で、2015年3月に廃止予定の国立総合児童センター「こどもの城」(東京都渋谷区)の存続を求めました。

笠井氏は、4月にこどもの城を視察し、同

施設が全国の児童館のセンターとして、遊びのプログラム開発・発信・改良を重ね、人材育成にも取り組んでいることに言及。施設の利用者や「存続を願う有志の会」が全国の児童館148カ所からとったアンケートでも存

続を求める声が圧倒的多数であり、併設されている青山劇場、青山円形劇場にも、演劇・音楽関係者や利用者から存続を願う声があがっていることを紹介し、関係者から意見を聞いて、決めたのかとただしました。

厚労省の石井淳子雇用均等・児童家庭局長は「意見を聞いた事実はない」と答えました。

笠井氏は厚労省が昨年9月7日に公表した「行政事業レビューシート」では、「優先度が高い事業」と存続を前にしていたのに、3

週間後に突然、閉館の判断が下されたことをあげ、「あまりに不可解だ。再検証すべきだ」と求めました。田村憲久厚労相は「確か

に不可解なところもある。どういう経過で決めたのか検証したい。(現地も)見に来たい」と述べました。